

日英の移民政策・移民支援 の現状と課題

ー共生社会の実現に向けて

日本とイギリス両国とも移民や外国人政策に近年大きな動きがあり、対応をせまられています。イギリスはそれまで移民を多く受け入れてきましたが、EU 離脱後どのように移民政策や支援を展開するか議論がなされています。日本は近年外国人労働者の受け入れが積極的になされており、2019年には外国人材の受け入れ拡大のため、新たな在留資格「特定技能制度」をスタートさせています。

両国とも労働力を移民で賄っており、彼らなしでは成り立たない社会である一方で、反移民・反外国人感情とそれに伴う厳しい移民・外国人への政策があり、相反する問題を抱えているという点で共通点があります。

発表者

グローバル・スタディーズ研究科博士後期課程

米川 尚樹

発表 / 進行者

グローバル・スタディーズ研究科博士後期課程

Maximilien Xavier Rehm

ディスカッサント

グローバル・スタディーズ研究科博士前期課程

迫 鈴子

日時

11 / 30
2022

18:15-19:45

WED



場所

今出川キャンパス
良心館 418 教室

言語

日本語

参加費

無料 / 申込不要

対象者

在学生・教職員

プログラム

- 18:15-18:45 ● 発表 01
- 18:45-19:15 ● 発表 02
- 19:15-19:25 ● コメント
- 19:25-19:45 ● ディスカッション